

口頭⑤

多職種連携 ～在宅業務からみえてきたもの～

中野店
○荒井 里実

今回は「連携」にスポットをあて、在宅業務における店舗内の工夫・訪問時の印象的なエピソードをご紹介します。

現在中野店では、スタッフ全員が在宅業務に関わるようになりました。
よって店舗内の連携は重要であり、これが多職種連携の土台と考えます。

配薬や残薬管理が在宅業務の中心ではありますが、それだけではありません。薬剤師が生活面などにも関わるようになり、業務は多岐にわたっています。
ケアチームの一員として患者様のために働くこと、これが多職種連携のポイントであると感じています。

また、中野店は応需処方箋の約半数が皮膚科です。
日々の業務を在宅業務に活かし、地域の中でも皮膚関係に強い薬局になっていくことが今後の目標です。